オーディオ実験室収載

仮想アース Crystal Ep の導入(4)(HP 収載)
－Brooklyn DAC+－

１．始めに

前報(3)に引き続き、光城精工の仮想アース Crystal EpY の効果について試聴します。今回は Brooklyn DAC+への接続でます。

２．Crystal Ep の試聴方法

今回は Brooklyn DAC+のアース端子に Crystal EpY の Y ラグを直接接続したいところですが、スペースの関係で作業性が悪いので短めのリード線を経由して接続します。

音源は前報(2)で使用したアナログ盤と BPODCH の再生です。

３．Crystal Ep の試聴結果

アナログ盤は下記を使用し、Crystal EpY のあるなしで聴いていきます。

ドイツグラモフォン　MG8333/4

　　ニコロ・パガニーニ　24 の奇想曲

　　サルヴァトーレ・アッカード（Vn）

ドイツグラモフォン MG9551

　ベートーベン　三つのピアノソナタ（選帝侯のソナタ）

　ゲザ・アンダ（ピアノ）

LONDON KLJC-9180/9184（RTI／キングレコード）

　リヒヤルト・ワーグナー　ワルキューレ全曲

　ゲオルグ・ショルティ指揮ウイーンフィル

パガニーニ　24 の奇想曲は、Crystal EpY を接続しますと、劇的というほどではありませんが、音が緻密になりボウイングの様子が分かりやすくなります。

選帝侯のソナタは、Crystal EpY を接続しますと、打鍵がクリアーになり、音の滲

みが減ってきます。
ワルキューレは、オーケストラの各パートの分離が向上し、ソプラノやメゾソプラノの歌唱の声の質感がしっかりとして、歌唱位置の定位が明瞭になります。
BPODCH の再生は、ロレンツォ・ヴィオッティ指揮ベルリンフィルのマーラーの 3 番とエフゲニー・キーシンのピアノとマリス・ヤンソンス指揮ベルリンフィルのリストのピアノ協奏曲 1 番です。
マーラーの 3 番は、オーケストラの各パートの音の分離が向上し、楽器の質感が明瞭になります。
リストのピアノ協奏曲 1 番は、オーケストラの各パートの音の分離が向上し、ピアノの低音の響きが明瞭になり、打鍵のアタック音と響きのバランスがとれてきます。

４．まとめ

Brooklyn DAC+のアース端子に Crystal EpY を接続する効果を認めました。

以上